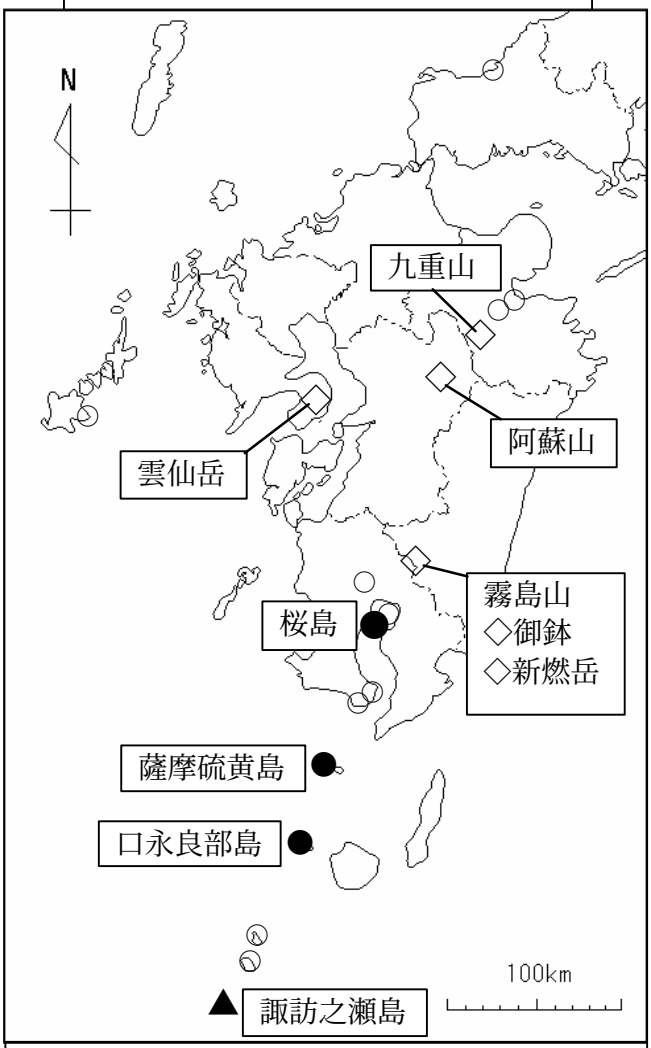
# 九州地方の火山活動解説資料（平成 19 年９月)

福 岡 管 区 気 象 台
火山監視・情報センター

## 【９月の活動概況】

**諏訪之瀬島は活発な状況が続いています。桜島では、比較的静穏な噴火活動が続いています。
薩摩硫黄島及び口永良部島はやや活発な状況が続いています。**

九州地方及び山口県の活火山




▲：噴火した火山
●：活発もしくはやや活発な状況の火山
◇：解説を記載した火山
○：その他の火山

注１　資料中にあるレベルとは、火山活動度レベルを示しています。現在、福岡管内では８つの火山に導入しています。

## 各火山の活動概況

**◇ 九重山[静穏な状況（レベル１）]**
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

**◇ 阿蘇山[静穏な状況（レベル１）]**
中岳第一火口南側火口壁のごく一部で赤熱現象が観測されましたが、火山活動は静穏に経過しました。
火口付近では引き続き火山ガスに対する注意が必要です。

**◇ 雲仙岳[静穏な状況（レベル１）]**
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

**霧島山**
**◇ 御鉢[静穏な状況（レベル１）]**
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。
**◇ 新燃岳[静穏な状況（レベル１）]**
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

**● 桜島[比較的静穏な噴火活動（レベル２）]**
南岳山頂火口及び昭和火口からの噴火はありませんでした。火山性地震や火山性微動は少ない状態で推移し、噴火活動は比較的静穏な状態で経過しました。

**● 薩摩硫黄島[やや活発な状況（レベル２）]**
噴煙活動、地震活動ともにやや活発で、火山活動はやや活発な状態で経過しました。

**● 口永良部島[やや活発な状況（レベル２）]**
火山性地震及び火山性微動は消長を繰り返しながらやや多い状態が続き、火山活動はやや活発な状態で経過しました。

**▲ 諏訪之瀬島[活発な状況（レベル３）]**
17 日に爆発的噴火が発生するなど、火山活動は活発な状態で経過しました。

**※　火山情報の発表状況**
火山情報の発表はありませんでした。

---

この解説資料は気象庁ホームページ(http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html)、福岡管区気象台ホームページ(http://www.fukuoka-jma.go.jp/)でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料(平成 19 年 10 月分)は 11 月９日に公表予定です。

この資料は気象庁のほか、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、独立行政法人防災科学技術研究所、大分県、阿蘇火山博物館のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ(標高)」、「数値地図 10mメッシュ(火山標高)」、「２万５千分の１の地形図」を使用しています（承認番号:平 17 総使、第 503 号）。